

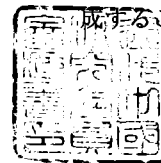
# フェアバンク教授と アメリカの近代中国研究

蒲 地 典 子

アメリカの近代中国研究の父というべき人、ジョン・キング・フェアバンク教授が今秋（1991年）9月14日に他界した。こんにち、中国のほかには、日本に次いで中国研究の著書・学術論文が数多く出版されているのはアメリカであろう。第二次大戦後のアメリカで、中国と日本を中心とした東アジア研究が盛んになったのは、単に国際社会の指導的地位を確立したアメリカの实际的必要からだけではない。中国研究がアメリカの大学で低からぬ地位を占めるようになったのは、ジョン・K・フェアバンク教授（1907—1991）の決意と実行力に負うところが大きい。

1950年代の冷戦の進行期には、中国はアメリカ人にとって単なるもうひとつの共産国としてのみ受け取られ、アメリカ政府は台湾の中華民国政府とのみ国交を維持することになった。フェアバンク教授は、このような政策に早くから異議を唱え、中国の国内事情についての論説を発表してアメリカ市民の啓蒙に努めた。教授は大戦中（1941—1946）、アメリカ政府の文化情報顧問および広報官として勤め、1942—43年と、1945—46年には中国に駐在して、中国政界の要人、報道関係者、文化人と広く交わった。そして中国の実情と中国の行方についての観察を、専門家のためばかりでなく一般市民に伝えるため、『アトランティック・マンスリー』や『ニュー・リパブリック』や『ライフ』に論説を寄せた。

戦争が終ってハーヴァード大学にもどった教授は、アメリカ市民のアジア諸国、とりわけ中国に対するおそれるべき無知と偏見を啓くには、まず全国各地の大学に中国研究の機関をつくって教師となるべき人物を養成することだと、考えた。ハーヴァードで「地域研究・東アジア」の修



士過程を創設したのがまずその手始めで、続いて博士過程の「歴史および東アジア諸言語」(のちに1970年代になって「歴史および東アジア諸文明」と改名)を設置した。こんにちアメリカの中国研究が学際的なのは、フェアバンク教授の設置したこれら大学院課程がもともと学際的に構成されていたからであり、学生は現代および古典中国語はもちろん、哲学、美術、社会学、経済学、政治学等のコースを歴史学とともに履修することになっている。

また、こんにちのアメリカの主な大学には東アジア研究センターというものがあり、中国研究、日本研究、朝鮮研究、ヴェトナム研究に従事する研究者が、その大学の教職員を中心に、客員研究員をも交えて、討論の場をもっている。これも、フェアバンク教授がハーヴァードで創設した東アジア研究センターがアメリカ全国の大学の研究所のモデルとなったからである。さらにまた、アメリカ全国のアジア研究者の組織であり、現在では日本も含めて多数の国際的会員をもつ Association for Asian Studies (略称 AAS) が、1950年代、1960年代に財団の資金を導入することに成功して、東南アジアおよび南アジア研究者をも含む大規模な組織となり、活発な活動を続けてアメリカのアジア研究の発展に大きな役割を果たしているのも、もともとはフェアバンク教授の努力に負うところが大きい。

教授はハーヴァードで多くの研究者を養成し、彼らの博士論文を出版して就職を助け、全国の主要な大学で中国研究の講座や研究所を出発させるのを支援した。その結果、全米の研究者のなかで、フェアバンク教授に直接または孫弟子として師事した者の占める割合は高い。同時に、教授は1950年代当時すでにそれぞれ別の途を辿って中国研究の権威になっていた学者や、カール・ウィットフォークに代表されるヨーロッパからの亡命学者にたいして、彼らを孤立させぬよう特別の配慮を払った。AAS を中心として全米の研究者が全国的研究ネットワークに参加するような状況を創り出したフェアバンク教授の功績は大きい。

フェアバンク教授は米国内の研究者ばかりでなく、中国はもとより、韓国、日本、ロシア、フランスをはじめとする世界各国の中国研究者との連携の必要を強く信じていた。とりわけ日本の中国研究の蓄積には深い敬意を払っており、二度にわたって日本における近代中国研究の解説

付き文献目録を編纂した。1952年以来、数回にわたって来日し、日本における友人も多い。

1907年5月24日、サウス・ダコタ州の生れ。84年の輝かしい生涯であった。

その生い立ち、ハーヴァードおよびオックスフォードにおける修学、中国での研修生活、第二次大戦中の活動、および戦後の米中関係改善のために教授の果たした役割については、回想録 *Chinabound: A Fifty-Year Memoir* (1982) に教授自らが語っている。本書の翻訳は『中国回想録』としてみず書房から出版される予定である。

以下はフェアバンク教授の著書のリストである。このほかに多数の論文・論説・書評がある。

*The United States and China*. Harvard University Press, 1948.

——. 2nd revised edition. 1958.

——. 3rd revised edition. 1971.

——. 4th revision. 1979.

——. 4th revision supplemented. 1983.

*The Next Step in Asia* (co-author). 1949.

*Modern China: A Bibliographical Guide to Chinese Works, 1898–1937* (with Kwang-Ching Liu). Harvard University Press, 1950.

*A Documentary History of Chinese Communist, 1921–1950* (with Conrad Brandt and Benjamin Schwartz). Harvard University Press, 1952.

*Trade and Diplomacy on the China Coast: The Opening of the Treaty Ports, 1842–1854*. Harvard University Press, 1954. 2v.

*Japanese Studies of Modern China* (with Masataka Banno and Sumiko Yamamoto). Tokyo, Tuttle, 1955.

——. 2nd edition. 1967.

*Chinese Thought and Institutions* (ed. and contrib.). University of Chicago Press, 1957.

*Ch'ing Administration: Three Studies* (with Ssü-yu T'eng). Harvard

- University Press, 1960.
- Ch'ing Documents: An Introductory Syllabus* (comp.). 3rd ed. Harvard University, 1965. 2v.
- East Asia: The Great Tradition* (with Edwin O. Reischauer). Houghton, Mifflin Co., 1960. Vol. I of *A History of East Asian Civilization*.
- East Asia: The Modern Transformation* (with Edwin O. Reischauer and Albert Craig). Houghton, Mifflin Co., 1965. Vol. II of the above.
- China: the People's Middle Kingdom and the U.S.A.* Harvard University Press, 1967.
- The Chinese World Order: Traditional China's Foreign Relations* (ed. and contrib.). Harvard University Press, 1968.
- New Views of China's Tradition and Modernization*. AHA Service Center for Teachers of History, 1969.
- East Asia: Tradition and Transformation* (with E. O. Reischauer and A. M. Craig). Houghton, Mifflin Co., 1973.
- China: Tradition and Transformation* (with E. O. Reischauer). 1978.
- Chinese Ways in Warfare* (ed. and contrib.). Harvard University Press, 1974.
- China Perceived: Images and Policies in Chinese-American Relations*. Knopf, 1974.
- The Missionary Enterprise in China and America* (ed. and intro.). Harvard University Press, 1974.
- Japanese Studies of Modern China Since 1953: A Bibliographical Guide to Historical and Social-Science Research on the 19th and 20th Centuries* (with Noriko Kamachi and Chūzō Ichiko). Harvard University Press, 1975.
- Chinese-American Interactions: A Historical Summary*. Rutgers University Press, 1975.
- The I. G. in Peking: Letters of Robert Hart, Chinese Maritime Customs, 1868-1907* (ed. with K. F. Bruner and E. M. Matheson). Harvard University Press, 1975. 2v.

- The Cambridge History of China* (general editor with Denis Twitchett, projected in 15 volumes). Cambridge University Press.
- Ed. and contrib. to
- v. 10 *Late Ch'ing, 1800-1911*, part 1.
  - v. 11 ———, part 2 (with Kwang-Ching Liu). 1980.
  - v. 12 *Republican China, 1912-1949*, part 1. 1983.
  - v. 13 ———, part 2 (with Albert Feuerwerker). 1985.
  - v. 14 *The People's Republic*, part 1 (with Roderick MacFarquhar). 1987.
  - v. 15 ———, part 2 (with R. MacFarquhar).
- Chinabound: A Fifty-Year Memoir*. Harper & Row, 1982.
- Christianity in China: Early Protestant Missionary Writings* (ed. with S. W. Barnett and introd.). Harvard University Press, 1985.
- America's China Trade in Historical Perspective: the Chinese and American Performance* (ed. with Ernest May and introd.). Harvard University Press, 1985.
- The Great Chinese Revolution, 1800-1985*. Harper & Row, 1986.
- Entering China's Service: Robert Hart's journals, 1854-1863* (ed. with narratives by K. F. Bruner and R. J. Smith). Harvard University Press, 1986.
- China Watch*. Harvard University Press, 1987.
- Robert Hart and China's Early Modernization: His Journals, 1863-1866* (ed. with R. J. Smith and K. F. Bruner). 1991.
- China: A New History*. (projected for 1992)